

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第23号 2008年10月

八千代の谷津ものがたり

会長 加藤 賢三

ほたるの里は八千代自生のホタルがいつまでも生き続けることを願い、そしてホタルだけではなく、いろいろな生き物が棲める里として、皆様に親しまれながら、皆様と一緒に育て、守り続けてもう11年目になっています。もっとホタルもホタルメイトの仲間も増えたらいいですね。

ご存知のように、特に昨年あたりから「地球温暖化防止と生物多様性の保全」という言葉がどこでも聞かれるようになりました。私たち一人ひとりが、地球が温暖化するとどんなことが起こるのか、生活はどう変わるのかを考え、そして、「生物多様性」が低下すると、何が起こるのかも考えてみましょう。気候の不順などによる、農産物などの不作、外国では洪水、飢きん、感染症の蔓延などが想定されることでしょう。こんなことにならないために、できることから実行していきましょう。

ところで、最近汚染米の悪用に代表されるように、私たちの食べ物、いわゆる、食の安全性が大きな問題になっています。日本の食料の自給率が40%を切るような現状において、先ほどの「地球温暖化防止と生物多様性の保全」は、めぐりめぐって安全な食料の安定的な供給に関連するわけです。

自明のことですが、食の生産現場が里地・里山や水辺にあるわけです。八千代においてもこの現場が以前と変わらずに、保全されていくことが大切です。また、そこは八千代の大切な資源でもあり宝でもあるわけです。

ホタルをはじめとした、多くの生き物は、里地・里山や水辺に多いことはすでに多くの資料があります。八千代市においても八千代市水辺の自然環境調査報告書(2002年3月)などがあります。これは、いろいろな生き物の生息調査が専門家と市民調査員により行われまとめられたものです。そこから抜粋した図からも明らかなように、八千代には沢山の谷津田がありました。八千代市は1967年に誕生して以来、工業団地、住宅団地、学校、東葉高速鉄道などが建設さ

れて、現在人口もほぼ19万人となっています。八千代ホタルフォーラムでは10年以上前から毎年八千代市内のホタルの生息調査を続けてきました。中でも、石神谷津、花輪谷津、島田谷津、神野、佐山、また新川にかかる城橋、宮内橋右岸などの水田地帯はホタルの名所として、今では懐かしい場所となっています。しかし、今でも里地・里山や水辺にかろうじて、ホタルなどは生息しています。これからもご一緒に八千代の谷津田の現状を調べて行きませんか。

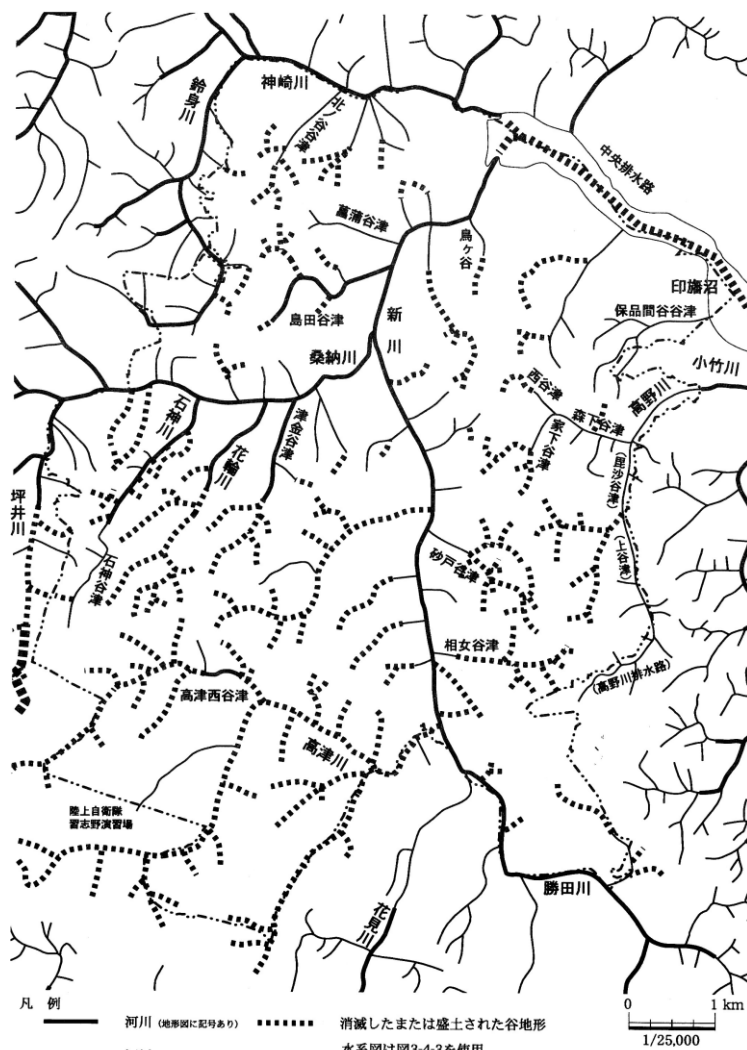


図4-2-1 消滅したまたは盛土された谷地形

図：稲田 晃ほか 湧き水と地質環境より

ほたるの里バス見学会報告

8月18日(月)、「親子・里山・エネルギー見学会」を行いました。今年のバス見学会は、親子で参加できるようにと夏休み期間である8月に実施、28名のホタルメイトが参加しました。

午前に行った東京電力千葉火力発電所(蘇我)では、工場の施設を見学させてもらい、環境に向けた取組などのお話をいただきました。その後、火力発電所の敷地内にある「ビオトープそが」で昼食をとりました。この「ビオトープそが」は、千葉火力発電所敷地の一部(18ha)をビオトープとして復元した場所で、



ビオトープそが



大草谷津田

コアジサシの営巣地があります。残念ながら、コアジサシを見ることはできませんでしたが、トンボやバッタがたくさんいて、子どもたちの遊び場となっているようでした。

午後には、千葉市環境保全推進課職員の案内のもと、若葉区大草町にある「大草谷津田〜いきものの里〜」を訪れました。ここは、千葉市が谷津田保全のモデル事業として位置付け、ふるさとの原風景であり多様な生態系を有する谷津田の自然を保全し、市民が身近に自然とふれあい、自然について学ぶ場を提供するために市民、農家、専門家、学校、行政など多くの主体が連携し整備した場所です。谷津田内はとても涼しく、湧水が湧いていました。水田にはニホンアカガエルやオニヤンマ、夏にはヘイケボタルも見ることができるそうです。谷津田を保全するには、たくさんの方々の協力が必要であると改めて思いました。

八千代市内の谷津を守ろう

自然観察指導員 森田 朗

最近谷津田や里山の保全の要望が高まり、千葉市ではすでに大草谷津田が生き物の里として誕生しており、お隣の佐倉市でも畔田沢流域に大規模な自然を生かした里山作りが行政、市民が一体となって具体的な検討が進められています。

我が市内では花輪谷津はわずかな下流の田んぼを残して東葉高速鉄道の車両基地となり、各種シジミチョウをはじめ市内の蝶の8割ぐらいが観られ、タコノアシ、サクラタデ、アカバナ、キンミズヒキ、カラスノゴマ、ツリガネニンジン、ヒョドリジョウゴ、ズメウリなど多くの野草や樹木に覆われた石神谷津も下流域の田んぼを残してすでに埋め立てられ、道路、宅地、調整池などに変わろうとしています。

今も残されている間谷谷津は以前、トンボの楽園と言われ多くのトンボが生息していましたが今はその面影は薄れつつあります。また、一部の道が八千代ゴルフ場内を通りボールが飛んでくる危険もあり、立ち入り禁止の看板も立てられているため一般市民は利用しにくいのが現状です。

毘沙谷津とそれにつながる森下谷津は休耕田が少なく農家の方々が稲作に励んでおり里山の風情が残されている貴重な谷津です。谷津だけを保全しても

意味が無く、斜面林は勿論のこと台地の上もある程度の保全が必要ではないでしょうか。それを考えると右岸の斜面林から上は佐倉市

となる毘沙谷津は難しく森下谷津を何とか八千代市の生き物の里として後世に残したいものです。

この谷津では今年3月末にサシバが飛来し営巣を期待したのですが、谷津の上部に道路が開通した為か、あるいはカラスに時々追われていたのでその影響か残念ながら営巣を諦めたようでした。

オオタカはよく話題に上がりますが、主としてキジバトやドバトなどの野鳥を餌としているため、市内をはじめ各地で目撃されています。サシバはカエル、トカゲ、ヘビなどを餌とし、休耕田の増加や除草剤、殺虫剤の使用により餌が減り、更に夏は日本で過ごし、冬は暖かい東南アジアで暮らす夏鳥ですが、ここも森を伐採し木材の輸出や椰子農園の開発が進み、ねぐらを失い今や数を減らしつつあります。

ほたるの里のように生き物たちが安心して暮らせる谷津田、里山を市民の力で守りましょう。



森下谷津に飛来したサシバ、白い眉斑が目立つのは雌です

ほたるの里はバッタがいっぱい！

クルマバッタ

羽を広げると半円もようがあります。

オンブバッタ

いつもいっしょで、なかよいです！

トノサマバッタ

がっしりとし、大型です。

コバネイナゴ

田んぼにたくさんいるよ。佃煮になっておいしいよ！

ツチイナゴ

成虫になるのは、みんなよりおそいけど、冬をこせるんだよ！

ショウリョウバッタ

オスは、とぶときに、キチキチなくよ！

(イラスト：もり)

平成20年度生物多様性モデル事業補助金

決定！

千葉県環境生活部自然保護課が7月に募集した、「平成20年度NPO生物多様性モデル事業」に、ほたるの里づくり実行委員会が応募し、見事選考されました。これは、「NPOによる生物多様性の保全・再生、持続可能な利用者に関する先導的な取り組みを支援する」という主旨で「先導的で、他の同様のNPO活動の参考となる事業」が対象でした。

そこで、「ヘイケボタル、ニホンアカガエル、ジャコウアゲハの保全と育成」事業ということで申請しました。

具体的には、生きもの調査、湿地などの環境整備、ジャコウアゲハの食草の育成(フェンス)設置、調査や作業に必要な道具を揃え、掲示板を設置します。

これまで里の作業は、環境保全課の物をお借りして

ましたが、主に、鎌、スコップ、草刈機などは個人持参でした。また、掲示板もホタルメイトのご協力を頂いていましたが、木造のため木が傷み、窓の開閉がやりにくい現状でした。

さらに湿地には、ヨシが繁茂しています。そこで、ヘイケボタル、ニホンアカガエルにとって住みやすい環境をつくる作業がいつでもできるように、道具を収納する倉庫を設置します。

この補助金で、ホタルやニホンアカガエルなど水辺の生き物の保全・育成が進むことを期待して、里の整備の充実をすすめていきます。

ホタルメイトの皆さま、里の作業など、ご協力よろしくお願いたします。

(くわはた)

☆ほたるの里学習会☆
～バッタを知ろう～

ほたるの里でバッタをつかまえて、バッタについて調べよう！

ほたるの里には、どんなバッタがいるか。バッタの一生についてなど、先生にいろいろ聞いてくわしくなろう！

日時：10月18日（土）

午前10時から12時まで

集合場所：ほたるの里

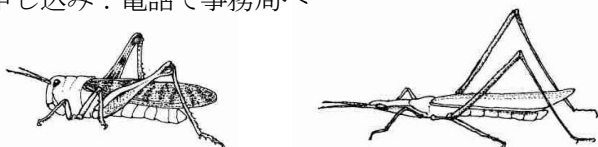
講師：郡司 節男氏（(財)千葉県環境財団）

参加費：無料

対象：ホタルメイトもしくはメイト希望者

持ち物：帽子・汚れてもよい服装

申し込み：電話で事務局へ



ザリガニ釣り大会報告

8月30日（土）、ほたるの里で毎年恒例となったザリガニ釣り大会を実施しました。当日は、あいにくの雨模様となりましたが、参加者は67名と盛大なイベントになりました。

親子での参加が多く、子どもだけでなく、お父さんお母さんも夢中になり、ザリガニを釣っていました。なお、この日は全体で約130匹のザリガニを釣り、参加者の皆様にお持ち帰りいただきました。



✂ 里の環境整備 ✂

ほたるの里でホタルが住みやすい環境にするため、草刈を行います。

日時：11月15日（土）

午前10時から12時ごろ

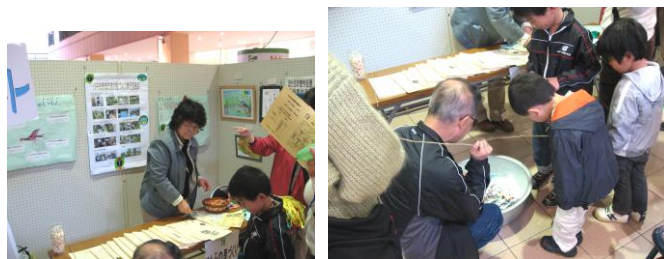
集合場所：ほたるの里

注意：各自で軍手・飲み物等のご用意をお願いします。

今年も『サポートセンター祭』に、 ほたるの里づくり実行委員会が出展します！

日時：11月 3日（月・祝）10:00～17:00

場所：イオン八千代緑が丘店2階ローズ広場



ほたるの里ブース（昨年度の様子）

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時で受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円
 窓口：120円
 払込先：八千代市ほたるの里づくり
 実行委員会
 口座番号：00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou2@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局